



## 研修医日記

作成者：小川 稜貴（2年次）

雪から雨へと変わり、雪や氷の解けだす頃となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、私は先日、地域医療研修として沖縄の県立八重山病院で1か月研修させていただきました。今年は歴史的な大雪に見舞われた青森県でしたが、向こうは気温が20℃弱あり、時期的に雨も少なく大変快適でした。それでも1年の中では最も気温が低いらしく、現地の方々は「寒い」、「最近冷えてきたなー」などと仰っていたのが驚きでした。

八重山病院では総合診療科を回り、担当患者さんに関しては入院の手続きから、入院中の治療方針、退院の判断まで全て一任されました。担当した症例は脳梗塞、肺炎、尿路感染症などプライマリな疾患ですが、適切な治療の期間や、退院のタイミングについて悩む場面も多々あり、今後初期研修が終了し独り立ちするにあたっての良い経験になりました。特に感染症治療に関しては、青森県より厳密であり、起因菌の想定、抗生剤の選択など勉強になる内容が多々ありました。

休日には石垣島内や周辺の島を散策したり、石垣牛、海ぶどう、ソーキそばなど、沖縄のグルメを堪能したりと充実した1か月を送ることが出来ました。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。